

日本原子力学会核燃料部会
第25回核燃料部会総会議事録

日時 :平成17年9月14日(水) 12:30~12:55
場所 :八戸工業大学 I会場(教養棟旧館講義室107)
出席者 :約30名

1. 活動報告

若松庶務幹事により、平成17年度の活動報告(途中結果)がなされた。

1-1.総会

平成17年9月14日(水) 於、八戸工業大学キャンパス

1-2.運営委員会 :

平成17年5月24日(火) 平成17年度第1回
平成17年7月7日(木) 平成17年度第2回
平成17年9月14日(水) 平成17年度第3回

1-3. 部会企画セッションプログラム

平成17年9月14日 13:00~14:00 (秋の大会時 於:八戸工業大学)
『トリウム燃料サイクルの世界における研究動向』
(東海大)山脇道夫殿、(京大)山名 元殿、(京大)宇根崎博信殿

1-4. 第20回・核燃料夏期セミナー

平成17年7月7日(木)~9日(土) 於、山形県鳥海温泉「遊楽里」

1-5. 日韓夏期セミナー

日本原子力学会、韓国原子力学会主催及び核燃料部会、材料部会、核融合工学部会共催
平成17年8月1日(月)~3日(水) 於、韓国/釜山市 東義大学国際会館

1-6. 講演会

日中科学技術交流協会主催、日本原子力学会核燃料部会ならびに同関東・甲越支部、共催
平成17年7月1日(金) 於、核燃料サイクル開発機構青山分室
『中国の経済エネルギー情勢と意欲的原子力開発』(原子力産業会議)永崎 隆雄殿

1-7. 研究専門委員会の立ち上げ

『核燃料技術基盤の高度化』研究専門委員会
[主査](原研)石島清見殿 [設置期間]平成17年 6月 1日 ~ 平成19年 3月31日

1-8. 核燃料部会 平成16年度決算及び平成17年度予算

平成16年度の最終決算は収入が488,068円、支出が618,574円で収支差額が▲128,506円となった。平成16年度の決算支出が増えた理由としては、平成15年度の会報印刷費の決済が平成16年度にずれ込んだことが大きい。

平成17年度予算は、収入が347,000円、支出が431,000円である。収入実績予想は、原研の永瀬様、更田様から100,000円のご寄付をいただいたことにより447,000円となる見込みである。支出実績予想は、予算通りの431,000円となる見込みである。

核燃料部会平成16年度決算および平成17年度予算(平成17年8月末現在)

[部会員数: 392名]

		平成16年度決算			平成17年度予算・実績予想		
		予算	実績	備考	予算	実績予想	備考
収入	配付金	277,000	277,000	学会連絡	277,000	277,000	学会連絡
	会費	-	-		-	-	
	寄付金・賛助金	-	-		-	100,000	(原研)永瀬様、更田様
	セミナーテキスト 売上	-	24,580	H16年度夏期セミナー テキスト	-	-	
	セミナー残金	70,000	186,488	H16年度夏期セミナー	70,000	70,000	H17年度夏期セミナー
	合計	347,000	488,068	予実差 141,068	347,000	447,000	予実差 100,000

		平成16年度決算			平成17年度予算・実績予想		
		予算	実績	備考	予算	実績予想	備考
支出	会議費	-	-		-	-	
	通信費、発送費	82,000	137,749	部会報発送費追加	74,000	74,000	会報発行回数は2回/年。夏版は電子ファイルまたは簡易装丁での配送を予定。
	会報印刷費	153,000	405,825	会報発行回数は1回/年。 H15年度分追加。	180,000	180,000	

ニュース印刷費	—	—	—	—	—	—	—
雑印刷費	—	—	—	—	—	—	—
セミナー補助金	—	—	—	—	—	—	—
会員事務管理費	60,000	60,000	学会連絡	60,000	60,000	学会連絡	
講師謝礼、旅費	54,000	0	春の大会合同企画セッション 費用は学会より支出	117,000	117,000	講師への謝金と旅費	
記念品作成費等	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	15,000	秋の大会資料作成費	—	—	—	—
予備費	—	—	—	—	—	—	—
合計	349,000	618,574	予実差 269,574	431,000	431,000	予実差	0
収支差額	▲ 2,000	▲ 130,506	予実差 ▲ 128,506	▲ 84,000	16,000	予実差	0

年度末繰越金	639,829	511,323	予実差 ▲ 128,506	427,323	527,323	予実差	100,000
--------	---------	---------	------------------	---------	---------	-----	---------

(単位:円)

1-9. 第24回総会以降の運営委員の交代

(ジルコプロダクツ)萩 茂樹 → (ジルコプロダクツ)若松 竜治 …平成17年度第3回運営委員会後より

1-10. 業務担当

担当幹事の紹介がなされた。

担当	平成17年度担当者
広報	[九大] 杉崎委員
ホームページ	[JNC] 木原委員/庶務幹事
部会報	[日本原電] 藤田委員
国際活動	山本副部長、[電中研] 木下委員、[JNES] 林委員
国内企画 (横断活動、年会時企画)	[京大] 森山委員、[NFD] 平井委員
庶務幹事(財務含む)	[名大] 松井委員、[ZP] 若松委員
夏期セミナー幹事	[東北大] 塩川委員、[MHI] 安部田委員
部会代表	部会等運営委員 [注]
	評議員(平成16、17年度)
	山脇部会長
	[東大] 寺井委員、[原燃工] 森 前副部長

[注]学会組織改革により従来の企画委員会が、「企画委員会」と「部会等運営委員会」に改組。7月より発足。

第1回運営委員会において、当部会からの代表として山脇部会長に当面の就任を依頼。

2. 今後の活動計画

若松庶務幹事により、今後の活動計画について下記報告があった。

- (1) 会報 : 第41-1号(平成17年9月頃発行)、第41-2号(平成18年2月頃発行) [注]
- (2) 講演会 : Prof. Olander “Research of hydride fuel as replacement for oxides in LWRs”, 他
主催:「原子力分野における水素化物の利用」研究専門委員会
共催:日本原子力学会, 核燃料部会, 材料部会
平成17年9月30日(於:丸ビルコンファレンススクエアRoom2)
- (3) 国際会議 : 『2005 Water Reactor Fuel Performance Meeting』(日、韓、中、欧、米 原子力学会共催)
平成17年10月2日～6日 (於:京都テルサ)
- (4) 総会 : 平成18年春の年会時 (平成18年3月24日～26日)
- (5) 運営委員会 : 平成17年度第4回運営委員会(平成17年12月1日予定)
平成17年度第5回運営委員会(平成18年春の年会時)
- (6) 第21回夏期セミナー : 平成18年7月13日(木)～15日(土) 開催場所は阿蘇(熊本県)を予定。

[注]平成16年度末に実施の部会員連絡方法に関するアンケート結果を基に運営委員会で協議の結果、部会報発行回数を毎年1回から毎年2回へ見直しました。ただし予算都合もあり、9月頃発行の夏版は電子ファイルまたは簡易装丁での配送を予定。

3. その他

山脇部会長から以下の連絡, お願いおよび閉会の挨拶があった。

- ・部会として社会への働きかけもやらないといけない。社会に開かれた活動を考えていく。
- ・核燃料部会の下に、核燃料の安全, 基礎, 先進材料についての調査を担当する専門委員会を立ち上げる予定である。
- ・部会員数は392名と多くなってきた。会員のさらなる増加に協力してほしい。
- ・中, 韓も含めた国際交流を進めていくので、皆さんにもどしどし盛り上げてほしい。

以 上

過去の総会議事録の一覧はこちらです。

[過去の総会議事録一覧](#)

[もどる](#)